

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
キャリアデザイン1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小高 一			実務経験	有	職種	Webエンジニア／専門学校講師				
担当教員紹介											
担当教員は、企業のWebシステム、提案から設計、開発、運用、保守まで全行程の実務経験あり。AI活用による学習者の修学状態の予測の研究に従事。基本情報技術者試験、ソフトウェア開発技術者（現応用情報技術者）、データベーススペシャリスト（高度情報処理技術者）、中学校・高校教員免許（数学、情報）の資格を有する。											
授業概要											
キャリアサポートブックに沿って就職活動の流れと書類の作成方法について学ぶ。まずはじめに自己分析を行い自分の興味・志向を確認する。次に業界と職種を理解し自分が進むべき方向を見定め、企業へのエントリー方法と履歴書の書き方を学ぶ。さらに筆記試験と面接試験の概要を学び後期に受講する「キャリアデザイン2」の実践的学習につなげる。筆記試験対策として毎回「就活ドリル」の問題を演習する。											
到達目標											
現在の自分を分析し将来の仕事を選択できること。企業や就職情報のWebサイトを活用し自分に合った企業を選択できること。履歴書の目的と記述内容を理解し自分をアピールできる履歴書が書けること。同様にエントリーシートが書けること。会社訪問時の服装・マナー・言葉遣いが理解できること。面接の目的を理解し自分をアピールすることができる。筆記試験問題を解くことができ、就職活動の準備ができることを目標とする。											
授業方法											
専門学校の目的は各分野の専門技能を身に付けたスペシャリストを社会に送り出すことである。その人材は専門分野に長けていることはもちろん、社会人としての資質も身に付けておく必要がある。本講座では働く意味を明確にし、学生と社会人との違いを認識するとともに、社会人になるための道筋、つまり就職活動の手順と方法を学ぶことが目的である。具体的には筆記試験の問題が解けること、履歴書やエントリーシートが書けること、面接試験に対応できることが目的である。 座学、演習を行う。											
成績評価方法											
試験・課題 60% 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 30% 毎回「就活ドリル」の問題を演習する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。毎回「就活ドリル」の問題を演習するので、高校まで学んできた5教科を復習しておくこと。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	過去の自分を分析できる										
第2回	現在の自分を分析し、将来の仕事を選ぶことができる										
第3回	業界・業種・職種について理解できる										
第4回	会社の種類、会社の組織について学び、自分に合った会社を選ぶことができる										
第5回	電話およびEメールのマナーを学び、資料請求ができる										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
キャリアデザイン1	
第6回	企業または就職情報サイトからWebエントリーができる
第7回	履歴書の書き方の基本ルールが理解できる
第8回	基本的な履歴書を書くことができる
第9回	説得力のあるエントリーシートが作成できる
第10回	会社説明会の種類を見極め、自分に合った会社説明会に参加できる
第11回	アポイントから訪問時の身だしなみ、礼状の書き方までができるようになる
第12回	筆記試験に合格できる、特に作文が書けるようになる
第13回	面接試験の種類と選考ポイントが理解できる
第14回	簡単な模擬面接を体験し、評価を自分自身にフィードバックできる
第15回	礼状が書ける。入社までの期間の過ごし方が理解できる